

生活応援・地域復興 1996.1.30

第24号

救援ニュース

都市生活現地救援本部
西宮市津門西口町7-3
電話：0798-36-6679

仮設住宅へ

暖房器具を中心に支援

ポートアイランド第2・3仮設

芦屋では火事見舞い

昨年末、生活クラブ生協東京から新たに250万円のカンパをいただきました。このうち150万円は暖房器具等の現物で直接被災者の手に渡して欲しいとの同生協の意向を受け、現地救援本部では現時点で物品を無償で被災者に提供することにともなうさまざまな問題を考慮して、神戸市中央区ポートアイランド第2・3仮設住宅内で注文を取って特別の低価格で販売することに決定しました。

また、昨年12月22日に芦屋市高浜町の高浜南仮設住宅において火災が発生し、一棟（13戸）が全焼、約20人が同仮設住宅内の空き部屋に転居せざるをえなくなるという痛ましい事件がありました。現地救援本部ではただちに在庫の緊急支援物資を配送するとともに、家財道具のほとんどを失った7世帯に対し暖房器具、炊飯器等の電器製品を提供することにし、12月26日、同仮設ふれあいセンターに支援物品を搬入しました。このための資金も上記カンパ金より支出しました。

生活クラブ生協東京より

新たな支援

250万円のカンパ金

芦屋の仮設で火災

昨年12月22日午後11時過ぎ、芦屋市内最大の高浜南仮設住宅（約750戸）から出火、一棟13戸が全焼、二人が負傷したほか、周辺の棟にも屋外の洗濯機や配管が熱で溶けるなどの被害がありました。被災地の仮設住宅で部屋が全焼したのは初めてのことです。プレハブ造りの仮設住宅は火のまわりが早いことが以前から指摘されており、高浜南仮設自治会でも石油ス

トープを禁止し、夜回りを強化するなど火災予防対策に取り組みだした矢先の事故でした。また、出火した棟から消火栓は2百数十メートルも離れており、敷地内の通路は住民の車で一杯で、消火活動に重大な遅れが生じました。

焼け出された住民に対し市は同仮設内の空き部屋をあっせんし、毛布等を支給したものの、7世帯は家財道具のほとんどを失っており、緊急の支援が必要

ポートアイランドで

ポートアイランドでは電気暖房器具の取り組みを行うことに決定。取扱品目は神戸大学生協の協力を得て、ホットカーペット・電気敷毛布・電気ストーブの3品を市価の1/3～1/2の価格で供給することにしました。対象となる仮設住宅は、定期青空市や炊き出しなどで日頃からおつきあいのあるポートアイランド第2、第3仮設（神戸市中央区）に設定し、第3仮設では棟ごとに注文用紙を回覧、第2仮設では戸別に注文用紙を配布しました。

12月25日、小雪のちらつくクリスマスの日、サンタクロースのコスチュームに身を包んだ救援本部スタッフを先頭に仮設住宅を一軒一軒まわってほぼすべての配達を終えました。

最終的には、第2、第3仮設（計530戸）合わせて103戸に供給し、仕入価と販売価の差額58万3885円を前記150万円のカンパ金によって補てんしました。

とされていきました。都市生活現地救援本部では食料、衣類など手持ちの救援物資をワゴン車一台分届けたほか、暖房器具等がさらに必要と判断し、同自治会と協議の上、こたつ、炊飯器など17点の電器製品を12月26日、同自治会へ寄贈しました。これら電器製品の購入にあたっては全額を生活クラブ生協東京からのカンパ金によってまかないました。総計金額は34万5050円に上りました。

もちつきは総合パフォーマンス

年末・年始に各地の仮設住宅で

1日
で
250kg
つく

東灘
瀬戸公園

この年末年始に被災各地の仮設住宅において「都市生活」主催・共催のもちつき大会があいついで行われました。昨年12月10日、神戸市東灘区瀬戸公園仮設住宅、同日伊丹市荻野仮設住宅を皮切りに、12月16日芦屋市剣谷仮設住宅、年明けの1月7日に同じく芦屋市の川西町仮設、1月20日神戸市西区の西神第11・竹の台仮設、以上5ヶ所で計約400

キロ=300升弱のもちをつきました。また、2月4日には神戸市東灘区の六甲アイランド第7

仮設住宅でももちつき大会を行う予定です。

もちつきは老若男女を問わずほとんどの人が参加でき、それぞれの力を発揮できる「総合イベント」です。全員が役割分担して協力しあうので住民同士のコミュニケーションも必然的に図れます。各仮設住宅でも、住民同士がこんなに協力し合ったのは初めてだという声がよく聞かれました。

また、こうしたイベントを通して仮設住宅を含む地域住民と「都市生活」の組合員との交流も始まっています。たとえば、1月20日に

行われた西神第11・竹の台仮設でのもちつきには、地元の神戸高塚高校の生徒・教職員の皆さんが主体的に参加してくれました。今回の成功によって、今後

今後も協力関係を継続

も同高校と同仮設住宅において定期的に交流の場をつくっていくことで合意しました。ちなみに、今回は3月2日にみそ造り・ひな祭りの行事を行う予定です。

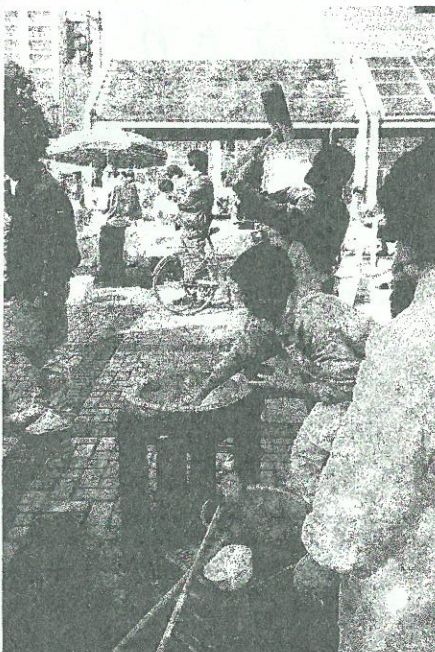
さらに、生協間の連帯がどんなに大きな力を生むかということも今回あらためて実感しました。12月10日

に行われた東灘区魚崎の瀬戸公園仮設もちつき大会の場合、魚崎地区の仮設800戸すべてにもちを配るために、250キロものもち米が用意されていましたが、これをすべて時間内につき上げることができたのはひとえに大阪東部・大阪西部・泉北各生協の協力のおかげです。各生協の組合員・職員・生産者の皆さん本当にありがとうございました。

現地救援本部では以上のようにいいことづくめ(?)のもちつきを今後も機会があれば継続していきたいと思っています。「私の所でもぜひ」とお思いの方はぜひ救援本部まで御連絡下さい。

連絡先：電話0798-36-6679

神戸高塚高校と共同で
西神竹の台



昨年12/10 東灘区瀬戸公園

救援リサイクルリレー終了

昨年末をもって救援リサイクルリレーは終了いたしました。各生協の組合員・職員の皆さん御協力有り難うございました。なお、成果の詳細は紙面の都合で次号に掲載する予定です。

ふれあい共生塾 中国語講座開講！ 生徒募集

予定通り1月13日よりふれあい共生塾では中国語講座を開講しました。人数にはまだ多少の余裕があり、授業もあまり先には進んでいません。まだ間に合います。ふるってご参加下さい。

問合せ先：電話0798-36-6679
(現地救援本部内)

おわび

救援ニュースの発行が1か月も遅れてしまいました。誠に申し訳ありません。反省してます。

(池田)